

「語りもんそ」

Vol.37 平成27年 8月31日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪
カフェ ミニコンサート

出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ”

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)

●7月26日(日)は、堂園和也さん(トランペット)と藤崎綾香さん(ピアノ)のお二人で、H・Purcell 作曲 “Trumpet Tune”、J・S・Bach 作曲 “G線上のアリア”、H・Koenig 作曲 “Post Horn Galop”、L・V・Beethoven 作曲 “ピアノソナタ「悲愴」より第2楽章”、森田真奈美作曲 “I am”、など8曲とディズニーメドレーでは「子供の世界」「ミッキーマウスマーチ」「星に願いを」の3曲に、スリー・ジャズ・ヒッツ、アンコールに「シューベルトのアベマリア」が演奏されました。



堂園和也さん(トランペット) 藤崎綾香さん(ピアノ)

○お客様に感想をお聞きしました

・河野愛永さん(まなえさん 中学3年) 指宿市

「ステージではなく身近な場所でクラシック、ジャズ、ディズニーメドレーなどいろいろな曲が聴けて嬉しかった。

温かく奥深いフリューゲルやピッコロトランペットなど曲によって替えられた4種類のトランペット演奏にととても感動しました」



出演者と河野愛永さん(中央)

●8月30日(日)は、黒木由香さん(フルート)と宮内綾子さん(ピアノ)のお二人で、バッツィーニ作曲 “妖精の踊り作品25”、岡野貞一作曲:宮内綾子編曲 “朧月夜”、クラーク作曲 “ザ グレート トレーン レース”、ピアソラ作曲 “タンゴの歴史よりボーデル 1900”、ボリング作曲 “フルートとジャズピアノ・トリオのための組曲第1番より IV.フーガ V.アイルランド風 VII.ヴェロス”、など7曲とアンコールに宮内綾子さん編曲の「浜辺の歌」「ちゃわんむしの歌」が演奏されました。

すべての曲について黒木由香さんが曲の特長・聴きどころを解りやすく解説して下さいました。



黒木由香さん（フルート） 宮内綾子さん（ピアノ）



プレセミナー会場

平成 27 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

第 36 回 霧島国際音楽祭 クリスマス祝祭管弦楽団公演

7 月 29 日（水）宝山ホール

演奏は音楽祭講師・参加アーティストによる超豪華オーケストラで、曲目は“シューベルト：交響曲第 5 番 変ロ長調 D485”、“モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 第 2 番 二長調 K.211”、“ベートーヴェン：交響曲第 4 番 変ロ長調 作品 60”。

鹿児島出身の指揮者、下野竜也さんとクリスマス祝祭管弦楽団は、ベートーヴェンの交響曲を毎年 1 曲ずつ披露しており、第 7 弾の今回は“交響曲第 4 番 変ロ長調 作品 60”が演奏されました。

クリスマス祝祭管弦楽団公演 プレセミナー

7 月 4 日（土） 7 月 11 日（土）
宝山ホール 3 階会議室

●7 月 4 日は、公益財団法人ジェスク音楽文化振興会 事務局長の堤正浩氏から、

- ・霧島国際音楽祭について
- ・クリスマス祝祭管弦楽団のメンバーとソリスト
- ・これまでのベートーヴェン・チクルスの紹介等の解説がありました。

指揮者の下野竜也さんが映像メッセージで

- ・ベートーヴェン：交響曲第 4 番
 - ・シューベルト：交響曲第 5 番
 - ・今年のクリスマス祝祭管弦楽団
 - ・ソリストの川久保賜紀さん
 - ・モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第 2 番
- について、聴きどころ、川久保賜紀さんの演奏の特長などをわかりやすく解説して下さいました。

●7 月 11 日は、鹿児島国際大学 国際文化学部 音楽学科 准教授の伊藤綾氏より、

- ①作曲者（シューベルト・モーツァルト・ベートーヴェン）について。
- ②オーケストラの楽譜と音声により、当日の演奏曲目の聴きどころや特長を具体的に、また分かりやすく解説して下さいました。

○お客様に感想をお聞きしました

・嶋田彩那さん（高校 1 年） 鹿児島市
「豪華メンバーによる質の高い演奏に引き込まれました。中学校でフルートをしていたのでシューベルトの交響曲ではとてもきれいな音色が心地よかったです。

ヴァイオリンソリスト川久保賜紀さんの繊細な動きを近くで見ることができ、感動しました」



嶋田彩那さん

平成 27 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

宝山ホール探検隊！

8月4日（火） 宝山ホール

小学生から中学生までの参加者21名が3グループに分かれ、ふだん見ることができない舞台の照明・装置、音響室、調光室、楽屋等の設備を実際に見て、触れて、宝山ホールを楽しく探検して、プラネタリウム・吊もの・ゴムでギター等を作り、影アナも体験しました。

●探検・体験の一部をご紹介します



調光室（調光卓）



音響室（音響卓）



楽屋



プラネタリウムを作りました。自作ゴムギターで演奏しました。

○体験者に感想をお聞きしました

・南 諒成くん（小学2年） 鹿児島市
「探検した場所では担当の方が分かりやすく説明してくださり嬉しかった。最後にした工作はプラネタリウム作りで1回目は失敗したけど2回目は大きな星を作りました。

夏休みの自由研究の参考になりとても楽しかったです」



南 八重さん 快成くん 諒成くん

平成 27 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

日本の古典

能・狂言 鹿児島公演

8月8日（土）かごしま県民交流センター（能舞台）

【番組】

狂言（和泉流） 「棒縛」 佐藤友彦

能（観世流） 「巻絹」 杉浦豊彦

※上演前に内容や見所を知るミニ講座もありました。

○お客様に感想をお聞きしました

・平川 輝さん（ひかりさん 高校2年 音楽部）
「初めて生の公演を観ました。一つひとつの所作の細やかさ、緊張感が常にあるような空気感が素晴らしく、能・狂言を観たこの機会を自分たちの演奏に生かしていきたいです」

・内村愛瑛さん（まなえさん 高校2年 音楽部）
「初めて観ました。狂言は語るだけでなく物音まで再現することを初めて知りました。能は楽器や地謡があることによって物語がイメージしやすかったです。巫女の役を男の人が演じていましたが手首の使い方本当に女の人のように見えたのが素晴らしいと思いました」

・坂田日生さん（ひなせさん 高校2年 音楽部）
 「限られた舞台上、演者のどっしりとした空気感がホール全体を支配していました。その空気感にとっても圧倒されましたが、日本には能や狂言のように独特な世界観のある伝統芸能があることを日本人として誇らしいと思いました」



平川輝さん 内村愛瑛さん 坂田日生さん

※8月2日に開催された、平成27年度第31回鹿児島県合唱フェスティバルに於いて、松陽高等学校音楽部が金賞と特別賞の県知事賞を受賞し、9月11日の第70回九州合唱コンクールの県代表として、自由曲は能の「殺生石」をテキストにした合唱曲を発表されるそうです。

（九州大会の県代表高校は、鹿児島女子・鹿児島・松陽）

平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
チャレンジしよう「日本の伝統文化」

～お茶・生け花・日本舞踊入門講座～

8月23日（日）宝山ホール 県民交流センター

鹿児島県内の小・中学生の皆さんが、日頃学ぶ機会の少ない日本の伝統文化である、お茶・生け花・日本舞踊にチャレンジしました。

●日本舞踊（吾妻流） 講師は烏野ユリ子先生



●お茶（裏千家） 講師は溝口陽子先生



●生け花（小原流） 講師は鈴木查智子先生



○受講者に感想をお聞きしました

・春田愛莉さん（小学3年） 鹿児島市
 「日本舞踊は初めてで不安があったけど、なめらかな動きと目線や手先の動きで表現して踊るものだと先生がやさしく教えて下さいました。」

お扇子を使って箏曲“さくらさくら”が踊れるようになり嬉しかったです。

生け花では、初めて使う花切り鉋や剣山はこわかったけど先生がわかりやすく優しく教えて下さったので楽しくお花を生けることができました」



吾妻薩來（さら）さん（吾妻流師範）と春田愛莉さん（右）

宝山ホール広報ボランティア 『語いもんそ』編集部
 〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール
 電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503
 撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行